令和６年度第２回　狭山ニュータウン地区再生連絡協議会　議事要旨

■開催日時：令和７年３月２４日（月）　午後３時００分～
■開催場所：大阪狭山市役所　３階　第一会議室
■出 席 者：委　員：上甫木委員、久委員、金谷委員、山口委員、吾妻委員、菊屋委員、田中委員、中嶋委員、疋田委員、山村委員、駒田委員、芝辻委員、谷埜委員、小泉委員、品田委員
事務局：市長、田中副市長、楠副市長、政策推進部長、総務部長、健康福祉部長、市民生活部長、まちづくり推進部長、水政策部長、教育部長、こども政策部長、政策推進部兼まちづくり推進部理事、政策推進部企画・情報政策Ｇ課長、まちづくり拠点整備推進室長、企画・情報政策Ｇ課長補佐、企画・情報政策Ｇ主査、都市政策Ｇ主査

■案　　件：１議　事

①狭山ニュータウン地区再生にかかる令和６年度までの取組概要と
令和７年度の取組予定について
・令和３年度から６年度までの狭山ニュータウン地区再生の取組み実績
・令和７年度の狭山ニュータウン地区再生の主な取組み予定
・狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議の取組み状況

２報告事項
①近畿大学病院等移転跡地の活用に関する検討状況
②後継病院の取組み状況
③帝塚山学院大学跡地の活用状況

■資　　料：資料１　大阪狭山市狭山 NT 地区再生連絡協議会規則、委員名簿
資料２　令和３年度から令和６年度までの狭山 NT 地区再生に向けた取組み
資料３　狭山 NT 地区再生に向けた令和６年度の主な取組み状況
資料４　狭山 NT 地区再生に向けた令和７年度の主な取組み予定
資料５　狭山 NT 地区再生推進計画（令和６・７年度取組状況一覧）
資料６　令和６年度狭山 NT の未来を育むプロジェクト推進会議活動状況
資料７　狭山 NT の未来を育むプロジェクト 2025 ディスカッション報告
資料８　近畿大学病院等移転跡地土地利用提案図
資料９　近畿大学病院等移転跡地長期スケジュール（R7.3時点）
資料１０　医療法人せいわ会新病院の概要
資料１１　今熊地区周辺エリア複合施設整備事業について

■　議事要旨

【議事】
〇狭山ニュータウン地区再生にかかる令和６年度までの取組概要と令和７年度の取組予定について
・資料２から５について事務局より説明、資料６及び７について委員より説明
・府営狭山住宅の建替えについて委員より補足説明（資料なし）
（主な質疑）

発言者	発言要旨
会長	令和７年度の取組みについて、令和６年度取組みにあった公園遊具のリニューアルの記載がないが、令和６年度ですべて完了したという理解でよいか。
事務局	公園遊具のリニューアルについては、地元地区会や地域住民の方々と協議しながら、令和６年度までで１３の公園で実施した。令和７年度には新たな取組みとして、水とみど

	りのネットワーク構想に基づき、近畿大学病院等移転跡地の土地利用とも連動しながら、あまの街道やニュータウン内の緑道、東大池公園の一体的な再整備を検討している。
会長	ワークショップ等を通し、これまでどおり地域住民の方々の意見等を取り入れながら、公園整備等を進めていただきたい。
委員	府営住宅について、建替えに伴う入居者の減少等が予見される中、自治会の存続についてもご支援願いたい。一度解散してしまうと、再び立ち上げるのは困難だと思う。
委員	入居者とのやり取りの中でも、そのようなご意見をいただいている。自治会の存続について可能な範囲で対応を行っていく。
委員	ファミリーロード商店街周辺の歩道のリニューアルについて、近隣商業施設における新たな入居テナント等を考慮しての整備か。
事務局	当該箇所の歩道については、段差解消等を目的に、令和４年度から継続的に実施している。
委員	街路樹の根上がりによる段差の解消を目的とした改修であることは承知しているが、街路樹が伐採され、木陰がなくなってしまった。猛暑対策等は考えているのか。
事務局	地元地区会等と協議しながら検討していく。
委員	安心安全なまち、子育てにやさしいまち及び教育の充実という点に注力してまちづくりを行っていけば、狭山ニュータウン地区での人口増加が期待できるのではないかと考える。
委員	ファミリーロード商店街周辺の歩道のリニューアルに合わせ、災害時等にも電力供給ができるよう、太陽光発電機能等を備えた交通標識等の設置も検討されたい。
事務局	防災担当部局とも協議して検討していく。
会長	令和７年度の主な取組み中、市循環バスルート再編について、補足説明をお願いする。
事務局	市循環バスルートの再編については、令和７年度夏ごろに詳細をお示しできる見込みである。
委員	乗務員不足等、昨今のバス事業者が置かれている事業環境を踏まえ、市循環バスを含む路線バスの積極的な利用をお願いしたい。
委員	市循環バスのニュータウン回りルートについては、Ａ、Ｂコースともに時間帯によっては混雑している。解消されるよう、ルート再編される中で増便等を検討されたい。
事務局	乗務員不足もあり、困難かと思うが、バス事業者と協議する。
委員	地域住民同士の繋がりの場、コミュニケーションの場として、例えば、狭山ニュータウン地区内の公園を防災ステーションにしてはどうか。
会長	防災ステーションという非日常的な機能を、日常的に利用する公園に付与するという考え方は意義があることだと思う。
副会長	ここまでの議論にも出てきたように、地域コミュニティがより繋っていく機会が多くあればよいと考える。公園のリニューアルについても、地域住民の方々とのワークショップを取り入れることで、地域コミュニティが活性化していくものと考える。

【報告事項】

〇近畿大学病院等移転跡地の活用に関する検討状況

・資料８及び９について事務局から説明

〇後継病院の取組み状況

・資料１０について事務局から説明

〇帝塚山学院大学跡地の活用状況

・事務局から説明（資料なし）

（主な質疑）

発言者	発言要旨
委員	せいわ会の新病院について、回復期リハビリテーション病院ということは、入院患者しか利用できない病院という認識でよいか。
事務局	いわゆる外来診療は行わないが、他の医療機関からの紹介等で通所リハビリテーションのサービスを受けることができる見込みであると聞いている。
委員	狭山ニュータウン地区の象徴である近畿大学病院が移転するということで、跡地に立地する施設が新たに象徴的なものになるよう、開発事業者候補である大和ハウス工業株式会社へ提案されたい。
事務局	大和ハウス工業株式会社にその旨お伝えする。
委員	近畿大学病院等移転跡地に予定されている産業系区画について、具体的にどのような施設が立地するのか。
事務局	近畿大学病院等移転跡地に実際に産業や商業施設ができるとすれば６～７年後の予定である。具体的なプランはまだ先であるが、住宅地が近接する場所であるので、その点を考慮したうえで企業誘致を行うよう、大和ハウス工業株式会社には伝えている。
委員	近畿大学病院の施設解体中の工事車両の通行ルート等は決まっているのか。
事務局	現状、具体的な通行ルート等は現時点では決まっていないが、具体的な内容が提示され次第、地元地区会等と協議できればと思っている。
委員	都市計画道路狭山河内長野線の整備に関係する近隣住民の方々には、早期に説明をお願いする。
副会長	近畿大学病院等移転跡地の「開発事業者候補」が大和ハウス工業株式会社であるという表現をしているが、正式な契約には至っていないのでこういった表現になっている。跡地の工場立地ついては、例えばカフェを併設した食品工場など、その地域に馴染むことができるようなものもある。広い視野で考えていただければと思う。

【その他】

〇今熊地区公共施設再編整備の取組み状況（情報提供）

・資料１１について事務局から説明

発言者	発言要旨
委員	工事期間中や新たな施設の完成以降も、既存の市民活動が継続できるよう配慮されたい。
事務局	工事期間中は施設機能の仮移転を行うなど、既存の市民活動に空白期間が生じないよう努める。
委員	新たな施設について、防災機能の整備はあるか。
事務局	市民アンケート調査結果においても防災機能の重要性については非常に多くの市民の方々が感じていると認識している。防災機能についても、これから実施する提案募集の中で、民間事業者から様々な提案をしていただけることを期待している。

〇まとめ

発言者	発言要旨
古川市長	狭山ニュータウン地区再生に関する取組みが具体化してきていることもあり、皆さまからのご意見が非常に具体的かつ身近な話になってきていると感じる。これらの取組みについては、狭山ニュータウン地区活性化指針に基づくものである。この指針は、2、３年近くかけて、市民アンケートやワークショップを経て、作り上げられた。今後とも、皆さまと一緒にもう一度共通の理解を持ちながら、さらに取組みを推進していきたいと思う。また、長年当協議会の会長を務めていただいた、現会長から今期をもってご勇退の意思が表明された。前述の活性化指針の策定時から、ご尽力をいただいており、この協議会をはじめ、多くの本市のまちづくり分野の審議会でもご尽力を

	いただいている。長年、狭山ニュータウン地区再生に対して、情熱をもって我々市民と一緒に取り組んでいただいたこと、厚く御礼申し上げる。
会長	副会長からもあったように、市民参画が最も重要なものであると考える。これからのまちづくりについて、市民が自分ごととして考えること、それが一番大事なことだと思う。特に若い世代、子育て世代の方々のご意見をぜひ吸い上げていただきたい。若い世代の意欲を大切にし、それを周りがサポートしていくようなまちの体制になっていくことを願う。
楠副市長	委員のみなさまの任期が、本日の協議会で一旦区切りということになる。２年間にわたりご参画いただき厚く御礼申し上げる。会長におかれては、長年にわたりご尽力いただき、重ねて御礼申し上げる。狭山ニュータウン地区再生に向けた課題はまだまだあるので、引き続き皆さまと本市のまちづくりを進めていきたいと思う。今後ともよろしくお願い申し上げる。